

将来ビジョン検討事務局 取組み②

青葉通沿道のオフィスワーカー等との意見交換、人材の発掘 (通称:青葉通ざっくばらんミーティング)

【概要】

- 社会実験の結果を伝えながら率直なコメントや感じていることをカジュアルに話すトーク会を企画・開催する。
- 「青葉通ざっくばらんミーティング」と題した本企画 は本音を語り、青葉通を担う社会人同士が繋がっていくのがコンセプト。

※事前申込制で録音なしの小さな集まりによる意見交換であり、オープンな市民参画イベントとは異なる

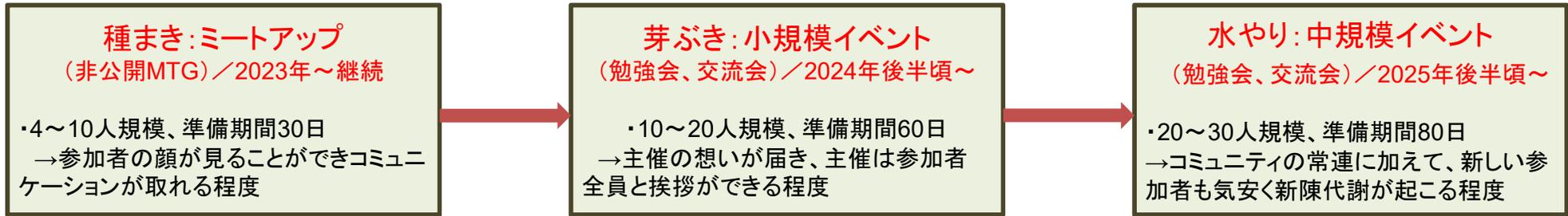
【目的】

プレイヤーの発掘、本音で語るゆるやかなコミュニティを中長期的に形成していく

- 青葉通沿道に働くひとと繋がり、新たなまちづくりの担い手の発掘を行うことで、持続していくまちづくりコミュニティ形成を行う。
- 意見交換会などに参加してくれるようなプレイヤーを中長期的に発掘すること。

青葉通沿道のオフィスイワーカー等との意見交換、人材の発掘 (通称:青葉通ざっくばらんミーティング)

【コミュニティを育てていくSTEP】



【開催一覧】

開催日	参加対象者	参加したメンバー
プレ開催: 9/27(水) (本番開催に向けた予行練習)	社会実験に参加した方	ゲスト:2名 (大学生、経営者)
第1回: 11/29(水)	青葉通沿道で働く若い世代	ゲスト:6名 ・社会人6名 ・県外から移住1~5年目
第2回: 2/21(水)	子育て中の方	ゲスト:7名 ・1歳~8歳の子育て中の方
スピンオフ: 3/6(水)	青葉通沿道で働く子育て中の方①	ゲスト:3名
スピンオフ: 3/13(水)	青葉通沿道で働く子育て中の方②	ゲスト:3名

青葉通沿道のオフィスイーパー等との意見交換、人材の発掘 (通称:青葉通ざっくばらんミーティング)

【参考:開催にあたってのコミュニケーションルール】

ざっくばらんミーティング

コミュニティールールについて

- ①録音や録画はいたしません
※テキストで会議録はしていますが、
「タテマエ・オフレコふだ」を持つと特殊効果が使えます！
- ②当日だけの呼び名をつけましょう！
役職や肩書きなど関係のなく、お話ししましょう♪
そのため名刺交換などはミーティングの後に…
- ③よく聴き、よく反応してみましょう！
頷く、手を叩く、声を出すこと意外に、
「共感ふだ」持つと反応するのが楽しくなります！

青葉通沿道のオフィサー等との意見交換、人材の発掘 (通称:青葉通ざっくばらんミーティング)

【参考:ざっくばらんミーティングで使用している資料】

ビジョンづくりに向けて検証した「3つの視点」
※協議会やWGでの議論から定まったもの

視点1/仙台の顔としてのエリア 「賑(らしさ)」を浮かび上がらせる

・このエリアや仙台の個性や強みを活かしながら、様々な人がこのエリアに行きたくなり、訪れる人に仙台の第一印象として好印象を与える、市民が誇れるエリアにすることができるか。

・エンタランスの役割として、他エリア(東北、仙台市内、都心各エリア)へ導くことができるか。



視点2/多様な活動があふれる人中心のエリア 「多様」を収集・分類化

・楽しみ、ワクワク感、居心地の良さ、癒しみ、安心感、魅力的、刺激的な経験といった訪れる人の感情や活動を生み出し、様々な人が惹きつけられるエリアにできるか。

・人との交流や出会いによって、イノベーションが生まれるエリアにすることができるか。



「仙台なき火チャーム」による焚き火には偶然立ち寄った人、遠方から訪れた人の姿も

視点3 /エリア価値向上のために挑戦するエリア 「能動的」な活動・認識を収集

・新たな魅力を生み出すことや、社会の変化に応じて変えていくことなど、このエリアにかかわる多様な主体がエリア価値向上のためにビジョンを共有し、挑戦するような流れを生むことができるか。



交通規制と交通への影響

車線規制と一般車通行止め、バス停移転を実施

実験前  実験中 

北側(旧さくら野百貨店側) 1車線規制 → 主にバス待ち空間として利用、
南側(EDEN側) 3車線規制 → 2車線分を主に利活用空間として利用しました。
具体的には車線数の減少/一般車通行止め(路線バス・タクシーのみ通行可) /タクシー乗り場の一時休止 / EDEN前バス停を旧さくら野前、ほうげつビル前に移転などを実施しました。

なぜペDESTリアンデッキで行わなかった?

「社会実験以前から、JR仙台駅周辺ビルの再開発が先行した結果、人が駅周辺に集中しているという声が多かったんです。実際に、仙台を訪れる人の行動範囲がJR仙台駅内やペDESTリアンデッキ、周辺の商業施設に集中していることが人流ビッグデータからも読み取れます。」

「街なかへの回遊性を高めることは重要ですが、すでに人が集中している場所に立地を設けても、目的である回遊性を生み出すような本質的な解決手段にはならないと考え、むしろ駅前にある青葉通を活かして、ペDESTリアンデッキから降りて、街なかへ踏み出してもらうような空間が必要だと感じたらなんです。」



※データが全てではないものの、人流が集中していることを示す赤い三角形がペDESTリアンデッキ上にあります。

【注】実験ワークショップグループ実験15日(日)



Webメディア「ウラボ」が仙台
「【旅りある】青葉通仙台駅前エリア社会実験 MOVEとはなんだっただけ?」より



社会実験で活用した場所をよく見ると、車道・歩道・駐地・ペDESTリアンデッキを少しずつ縮減した空間の使い方はなっています。

あの場所で感じたこと

どう過ごせたか、感じたか

ゆっくり休めた、落ち着いた	82票	人が混雑し狭く感じた	15票
子どもを遊ばせることができた	61票	置かれているものを使っていいのかわからなくて困った	4票
自然(芝生やみどり)が感じられて気持ちがいい	67票	道路が近く、危険や不便さを感じる	10票
夜の明るさ(照明)が綺麗で良かった	11票	荷物搬入や駐車場の利用がしにくく、支障が出た	7票
いつもと違う活気が駅前にあって楽しい・驚いた	117票	何をやっているかわかりにくかった	14票
ストリートピアノなどパフォーマンスができて楽しい	56票	音がうるさい、混乱した	4票

ファシリテーション用資料「MOVEMOVE」って、どうだったの? より引用

青葉通沿道のオフィサー等との意見交換、人材の発掘 (通称:青葉通ざっくばらんミーティング)

【参考:イラストレポート】

9/27
プレ開催
[参考:記録イメージ
(イラストルポ形式)]
事務局 岩間氏作成



青葉通沿道のオフィサー等との意見交換、人材の発掘 (通称:青葉通ざっくばらんミーティング)

【参考:イラストレポート】

9/27
プレ開催
[参考:記録イメージ
(イラストルポ形式)]
事務局 昆野氏作成

23.9.27(水) 青葉通 ざっくばらん MTG

福社系専攻の学生は

サッカー観戦も友達も近所の学生は家に任せて...
あんなに行かないすね
仙台駅前ってのは

Z世代って目的もなくフラッとどこかに行ったり寄り道するってあんまりやらない印象です。でもどこかでさみしさを抱える。

地元を離れて進学した子はホームシックになることも

社会実験「move move」では焚き火が人気でした
交流は求められているかも

フコシテター あから

Z世代の意外なリアル

大学では地域課題×福祉の目標を話し「地域創生を学ぶ」Koffー(えらい!)。

青葉通駅前エリア社会実験では大学の有た石井君グループの一員としてクリスマス商店街からユニバーサル視点でピックアップした商品販売にチャレンジしました。

僕も数年前、学生のときはそんな感じだったかも

ロック (会社員)

目的 あれば「Z世代」動く説

アンケート抜粋 「アプリ發ほしい!」

アプリ發ってアプリク!? 駅前のあるここに!?!?

推定 東本町の「Print Seal」

「あんなに行かないすね...」
「あんなに行かないすね...」
「あんなに行かないすね...」

りんりん先生 (会社経営)
この動きをサポートした◎最近ソビ映画にハマっているらしい

「あんなに行かないすね...」

「あんなに行かないすね...」

「あんなに行かないすね...」